

共生のきずなを求めて!

NPO 現代座

2019 年 5 月 1 日 発行
(通巻 481 号)

現代座レポート No. 78

【2018 年度 総会報告号】

- ・スクリーンで見る木村快の作品 (1)
- ・総会報告：2018 年度の活動を振り返って (2)
- ・東京都へ提出した「活動計算書」 (3)
- ・会館日誌 (4)
- ・お知らせ 会員入会、継続、寄付 (4)

NPO 現代座ホームページ <http://www.gendaiza.org/>

特定非営利活動法人 NPO 現代座 発行責任者：木村快

〒184-0003 東京都小金井市緑町 5 丁目 13 番 24 号 TEL 042-381-5165 (代) FAX 042-381-6987

混迷の海を行く 出航 1981 年制作



経済成長まっしぐらだった日本が最初に受けた衝撃は漁業資源規制の二百海里問題だった。不漁のため廃船になる第 16 宝龍丸の乗組員達は陸（おか）の仕事を探すが、海で育った人間にとって陸の仕事は地獄の日々だった。時代から打ち捨てられた人間にとって、生きるとはどういうことなのか。宝龍丸の解散式で乗組員達は一転して「どうせ果てるなら、海で果てるよ」と再び混迷の海へ船出することを決意する。なぜか晴れ晴れとした出航だった。

会場：現代座会館 3F 小ホール
日時：2019 年

5 月 31 日（金）19 時

6 月 1 日（土）14 時

6 月 2 日（日）14 時

定員：各回 30 人

※小さな会場のため、ご予約の方優先とさせていただきます。ぜひご予約ください。

参加費：大人 1000 円 小中高 500 円

ご予約：NPO 現代座事務所

電話 042-381-5165

FAX 042-381-6987

メール utatane8@gmail.com
(長谷川)

スクリーンで見る木村快の作品② 混迷の海を行く 『出航』

「スクリーンで見る木村快の作品」シリーズ第 2 回『出航』は 5 月 31 日、6 月 1 日、2 日の 3 日間、現代座 3 階小ホールで行います。詳細は同封のリーフレットをご覧ください。

『出航』は 1970 年から 10 年がかりで取材を続け、1981 年に制作された作品です。劇団内ではいわゆる面白い作品ではないし、経営的には難しいのではないかと言われていたのですが、上演がはじまると思いがけず広い支持が集まり、全国 356 回の上演が実現しました。

第 1 回の『風は故郷へ』は経済成長に浮かれていた時代、取り残された人々に焦点を当て、自立と協同を必要とする時代が来ることを予見しており、まさに現代の作品だとの声が寄せられ、再上映の企画も検討しています。

木村快作品の特徴は「台本ではきわめて深刻な社会現象を描きながら、上演するとなぜか観客の共感の笑いで、人間の強さと明るさを歌っている」と言われます。映像を観るといふより、観客の反応を通して、その時代を見つめ直すことができるようです。

現代座会館で開催されている「教育文化経営学院」の若者たちは、自分たちが生まれる以前に上演された舞台映像に「知識の問題より身体に歴史を刻みこむ場にしたい」と上映準備の作業を手伝ってくれることになりました。

上演終了後には 2 階の喫茶コーナーで作者の木村快を囲んで自由に談話できるようにコーヒールなどを準備しておきます。飲み物食べ物の持ち込みは自由です。どうぞ気楽にご参加ください。

遠隔地からの要望があれば準備資料、上映用 DVD をお送りします。自由に映写会を開いてください。

NPO現代座2018年度活動報告

2019年3月21日(木)午後6時から特定非営利活動法人NPO現代座の第18回定期総会が開かれました。18年度は正会員の武本英之さんの急死という悲しいことがありました。また専従の木下美智子が両親介護のため長野市での生活になり、芝居の企画ができず、公演は出来ませんでした。しかし木下がいない分を補ってくれるメンバーが増え、自分たちで企画を考えようという試みも生まれ、新しい体制が生まれています。

財政状況

左の表は東京都に提出した「活動計算書」です。

2018年度は733,964円の赤字でした。木村・木下が長野から通う交通費と現代座ホールと事務所を担うスタッフの人件費が増えたことが原因です。しかし必要な経費はきちんとかけて収入を増やしていくことを考えようと確認しました。

収入では何より会員の皆様の会費と寄付で支えていただきました。約300人の方が寄せてくださったこの1,611,000円で現代座の基本的な活動が成り立っています。本当にありがとうございます。

活動報告

①地域劇場づくり支援事業

これは現代座会館を地域の方や創造活動をする方に活用してもらう事業です。

◆定例活用

毎週の活用は「小金井熟年会」の集まりと、通信制

大学生支援の「教育文化経営学院」と「教育文庫」です。

その他、毎月一度地域のお年寄りが集まる「緑町ふれあいサロン」が行われているのと、緑町第二町会の役員会や総会にも使っていたいただいています。

また現代座の俳優が企画する「ヨガ教室」も週2日行われ地域の方が集まっています。

◆地下ホールと3F小ホール

ホール公演8団体、3F公演4団体、稽古など11団体でした。一緒に会館の運営を考えてくれる「希望舞台」をはじめ、「クロジ」「ふるきやら」などいくつかの劇団が毎年稽古に使ってくれています。また津田さんご夫妻の生徒の発表会「リトルコンサート」は今年度も2回行われました。

ホールの公演は毎年のようにやっている「夢さしの」「武蔵野芝居塾」「うたをあなたに制作委員会」の公演と新しい団体が4団体ありました。

3階小ホールでは「BONBON組」「ばけつまみれ」が今年度も公演しました。また地元の腹話術師いずみさんがホールでの公演と3階のチャリティー公演を企画してくれたのも嬉しいことでした。

②制作上演事業

◆朗読『協同の夜明け』

合唱構成劇『武蔵野の歌が聞こえる』をきっかけに結成された「川崎平右衛門研究会・顕彰会」の第2回研究会が10月12日に開かれました。そこで芝居を元に創った15分ほどの朗読劇「協同の夜明け」を上演しました。

◆スクリーンで見る木村快の作品・シリーズ

公演以外にもやれることは無いかとみんなで相談し、新しい企画をはじめました。第1回の『風は故郷へ』は企画・準備の未経験者ばかりなので反省点は色々ありましたが、参加者からは「ぜひ再上映する機会を作ってほしい」との声が寄せられています。

③セミナー事業

◆『遠い空の下の故郷〜ハンセン病療養所に生きて〜』長野県で2回の上演をしました。長野市では長野合唱団の有志が実行委員会をつくって取り組みました。大町市では昨年に引き続き「人権を考える市民の集い」で中学生と市民の方に見ていただきました。

◆『誰でもできる朗読教室』第5期、第6期

長谷川葉月さんが講師の初心者向け朗読教室は、基礎訓練を丁寧にししながら、半年間で発表会までやる12回の講座です。4期からは昼のクラスだけでなく夜のクラスもやっています。発表会は昼の部と夜の部が合同で行いました。7期の教室も始まっています。

④その他

◆レポート・宣材の印刷

木村が長野・東京の往復で、レポートや宣材編集に苦労していますが、印刷版下の作業はいつも細見吉輝さんがボランティアで助けてくれています。

◆現代座会館の整備

今年度も大きな修理などはできず、担当の西河がコツコツと雨漏りの修理や機材の整備を続けています。

新作の取材

作品担当の木村快は最後にやっておかなくてはいけない仕事として、戦前・戦中、植民地時代に育った高齢者が「戦後の高度成長期、そして現代」をどのように見てきたか。そして何を考えているのかをまとめたと言っています。長野県の戦後開拓地は今ほとんど姿を消したけれど、かつては219集落もあり、それらの消えた集落、その関係者の消息を取材して歩いています。

(木下美智子)

2018年度 活動計算書

2018年3月1日から 2019年2月28日まで

特定非営利活動法人 NPO現代座
(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		1,376,000
2 受取寄付金		235,000
3 受取助成金等		
公共団体補助金	0	
民間助成金	0	0
4 事業収益		
①地域劇場づくり支援事業収益	4,298,500	
②制作上演事業収益	52,000	
③セミナー事業収益	566,740	
④国際協力事業収益	0	
⑤まちづくり事業収益	0	
⑥子ども健全育成事業収益	0	
⑦会報発行事業収益	0	4,917,240
5 その他収益		
受取利息	14	
雑収益	115,270	115,284
経常収益 計		6,643,524
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	938,000	
(2) その他経費		
制作・準備費	314,782	
創造・上演費	394,100	
交通・通信費	27,500	
資料・印刷費	29,481	
消耗品費	464,538	
会報・HP経費	737,662	
その他経費 計	1,968,063	
事業費 計		2,906,063
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	889,750	
(2) その他経費		
通信運搬費	539,592	
消耗品費	260,745	
OA経費	344,893	
雑費	233,396	
光熱水道費	933,049	
租税公課	70,000	
家賃	1,200,000	
その他経費 計	3,581,675	
管理費 計		4,471,425
経常費用 計		7,377,488
当期正味財産増減額		-733,964
前期繰越正味財産額		1,097,356
次期繰越正味財産額		363,392

当期において、その他事業は実施していません。

お知らせ

TEL 042-381-5165
FAX 042-381-6987BOBNBON 組公演
「HOTEL OEDO」

江戸をテーマにしたホテルに宿泊し、電子機器を奪われたお客様たちのコメディ

◆現代座メンバー 矢川千尋が出演します

日 時：5月24日(金) 14:00 / 19:30
25日(土) 14:00 / 18:30
26日(日) 14:00

会 場：現代座会館3F小ホール

料 金：2500円 高校生以下1000円

問合せ：k.bonbongumi@gmail.com

NPO 現代座
誰でもできる朗読教室

第7期生発表会

日時：6月26日(水)

13:00 開場 13:30 開演

会場：現代座会館3F小ホール

入場無料

朗読講座の受講生が1月からの6ヶ月間の勉強の成果を発表します

第8期は9月開講予定です

現代座会館 2月～4月 活動日誌

2月11日 現代座創造グループ会議

12日 「平右衛門研究会」事務局会議

17日 「現代座レポート77号」発送作業

24日 教育文化経営学院「風は故郷へ」上映

3月18日 「平右衛門研究会」公演準備会

21日 NPO現代座第18回定期総会

24日 台本を読む会・第4回「港で拾った花」

27日 岡田京子氏来訪

4月1日 「平右衛門研究会」事務局会議

15日 「平右衛門研究会」公演準備会解散

16日 現代座創造グループ会議

毎月第3木曜日「緑町ふれあいサロン」

【現代座ホール】

2月11～14日

3月9日

4月1、4、5日

18、19日

ふるきやら「稲ムラの火」稽古

劇団希望舞台「釈迦内柩唄」稽古

劇団希望舞台「釈迦内柩唄」稽古

ふるきやら「稲ムラの火」稽古

【三階小ホール】

2月2～6日

20日

23～25日

3月1、3、4、7日

9日

20～24日

4月8日

18、20、21日 希望舞台「釈迦内柩唄」稽古

隔水曜日 朗読教室

毎火曜・木曜日 ヨガ教室

【定期使用 二階サロン】

毎日曜日

毎水曜日

隔木曜日

教育文化経営学院(学生支援)

熟年パソコンサークル

iPad 熟年講座

NPO現代座の会員になってください

- 年間4回発行の活動レポートをお送りします。
- 会員による企画行事をお知らせします。
- お申し出があれば、上演舞台の録画DVDをお送りします。

★年会費(現代座レポート購読料を含む)

一般会員 3,000円
 協賛会員 10,000円(1口以上)
 郵便振替口座番号 00110-7-703151 NPO現代座